

(様式第2号)

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (令和3年度実績)

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C	
横断的な課題	健康長寿と地消地産の推進を核とした地域づくり					
地域重点政策	健康長寿と地消地産の推進を核とした地域づくり					
実施機関	佐久地域振興局			担当課	佐久地域振興局商工観光課	
事業名	佐久の酒魅力発信事業			所属	佐久地域振興局商工観光課	
				電話	0267-63-3158	
				E-mail	sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	コロナ禍で日本酒の消費が落ち込む中、佐久地域の13の酒蔵の魅力を再認識してもらおうとともに広くPRし消費回復を図る。				
	現状と課題	<p>○コロナ禍で日本酒の消費が落ち込む中、Withコロナに向けPR活動等のイベントを通じて消費拡大を図ることが必要である。</p> <p>○移住促進のためには、県内外の人々に佐久の魅力を知らせてもらうことが重要であり、様々な切り口で魅力を発信していく必要がある。日本酒もその一つのツールである。</p> <p>○佐久の全酒蔵が共同で一つの日本酒を醸造した「SAKU13」は、信州ブランドアワード2016を受賞している。</p> <p>○以前から継続して事業を実施しているが、H30及びR元年度には、「日本酒産地SAKU情報発信事業」として、銀座NAGANOでの限定醸造酒PRイベント、日本酒PRパンフレットの外国語翻訳版の作成及び集客施設等への配布、軽井沢駅での限定醸造酒の試飲配布等の事業を実施し、多くの方に佐久の日本酒の魅力を知らせてもらうことができた。R2年度はコロナ禍のため事業を実施できなかったが、単発のイベントで終わることなく、継続して地道にPR活動を実施していくことが、佐久の日本酒ひいては佐久地域のファンを増やしていくことにつながる。</p>				
	内容 (変更後の内容)	<p>○佐久地域広域観光推進事業(佐久地域星空ラッピング車両情報発信事業)とのコラボにより、しなの鉄道と連携してラッピング列車を活用して佐久地域の日本酒の魅力をPRする。</p> <p>○ラッピング列車には県内外から多くの乗車が見込まれるため、佐久酒造組合に写真素材の提供などの協力を得て、佐久の日本酒をPRする中吊り広告を掲出することにより、広く様々な層の方々の目に触れ、佐久地域の酒蔵の魅力を再認識し、佐久地域のことをもっと知りたいと思うきっかけとする。</p> <p>○なお、当初開催を予定していた、しなの鉄道と連携したイベント列車及びラッピング列車出発式に併せた酒樽鏡開きや試飲会については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となり、代替のPRイベントについても、県内外でまん延防止等重点措置の適用があったため、開催を見送った。</p> <p>○県下で二番目に酒蔵の数が多く、原料となる水(伏流水)に恵まれ米の生産も盛んであることから、日本酒を通じて佐久地域の自然の豊かさをPRすることにつながる。また、今年度は見送られたが、限定醸造酒が生産されれば、佐久地域でしか味わえないものということで、佐久地域を訪れたいくなるきっかけともなる。</p>				
事業期間	令和3年4月 ~ 令和4年10月					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	列車内PR事業	中吊り広告掲出	88,000			
	合計		88,000			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	中吊り広告掲出による列車利用者への訴求(輸送実績等より推計)		1回(11.7万人)	1回(11.7万人)	● 達成	
					○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	<p>・佐久地域星空ラッピング車両情報発信事業で作成した、しなの鉄道佐久地域星空トレイン「晴星」の運行に合わせて、列車内で佐久地域の日本酒の魅力を発信する中吊り広告を約1か月間掲出した。</p> <p>・出発当日は、列車内のアナウンスで、佐久地域の日本酒の魅力をPRした。</p> <p>・短期間の掲出ではあったが、1両分すべての中吊り広告を利用し、列車が運行される北信地域までPRできたことは効果があり、素材の提供等にご協力いただいた長野県酒造組合佐久支部からも評価をいただいた。</p>					
今後の方向性	佐久地域の日本酒の魅力を発信するべく、しなの鉄道佐久地域星空トレイン「晴星」や物産展等の地域イベントを活用し、PR活動を継続して行っていく。					